



富山県のいま そしてこれから

幸せ人口1000万
~ウェルビーイング先進地域、富山~
の実現を目指して

令和6年10月

 富山県

1 富山県のすがた

◆ 富山県の概要	…	3
◆ 富山県の魅力	…	4
◆ 数字で見る富山県	…	6
◆ 「北陸の十字路」 ～充実した交通網～	…	7
◆ 「北陸の十字路」 ～環日本海交流の拠点～	…	8
◆ 富山県の産業	…	9
◆ 産業の集積	…	10

2 富山県のビジョン

◆ 震災からの復旧・復興	…	13
◆ 「富山県成長戦略」	…	14
◆ 「ウェルビーイング指標」	…	15
◆ SDGsに関する取組み	…	16

3 富山県の財政状況

◆ 令和6年度一般会計予算	…	18
◆ 普通会計決算	…	20
◆ 県税収入	…	23
◆ 県債発行額	…	24
◆ 県債残高	…	25
◆ 基金残高	…	26
◆ 県庁活性化の取組み（令和6年度）	…	27
◆ 主な財政指標の状況	…	28
◆ 地方公会計に基づく財務諸表の状況	…	29
◆ 公営企業の決算	…	30

4 市場公募債の発行計画

◆ 市場公募債の発行概要（令和6年度）	…	32
お問い合わせ先	…	34



1 富山県のすがた

～ 富山県ってこんなところ ～

-
- 富山県の概要
 - 富山県の魅力
 - 数字で見る富山県
 - 「北陸の十字路」～充実した交通網～
 - 「北陸の十字路」～環日本海交流の拠点～
 - 富山県の産業
 - 産業の集積
-

- 富山県は、南北にのびる日本列島の中心、本州の中央北部に位置しています。三方を急峻な山々に囲まれ、深い湾を抱くように平野が広がっており、富山市を中心に半径50kmというまとまりのよい地形が特徴です。
- また、日本海側の中央に位置する本県では、アジア大陸や朝鮮半島など対岸諸国との古くからの交流の積み重ねを活かし、環日本海地域の中央拠点として、活発な取り組みを展開しています。

人口

996,720人

令和6年9月1日現在

面積

4,247.54 km²

令和6年4月1日現在

県内総生産（名目）

4兆8,811億円

令和3年度



- 富山県は、高低差約4,000mの雄大な自然環境とそれが生み出す食文化、伝統芸能など多彩な観光資源に恵まれています。



立山黒部アルペンルート★★★★

北アルプスを貫く世界有数の山岳観光ルート
(左) 雪の大谷、(右上) 黒部ダム、(右下) 立山ロープウェイ



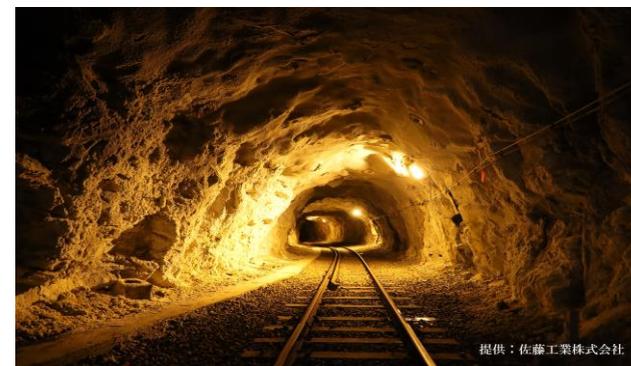
高岡市「国定公園 雨晴海岸」★

富山湾越しに望む3000m級の立山連峰



南砺市「五箇山の合掌造り集落」★★★★

1995年に世界遺産に登録



提供：佐藤工業株式会社

黒部宇奈月キャニオンルート (2025年以降一般開放・旅行商品化)

「黒部峡谷」と「立山黒部アルペンルート」を結ぶ新たな観光ルート

日経トレンディ2023年7月号「死ぬまでに行きたいインフラ」ランキングで第1位を獲得 (第3位には本県「立山カルデラ砂防」もランクイン)



高岡市「瑞龍寺」★★

1997年に山門、仏殿、法堂が国宝指定
江戸初期の禅宗寺院建築として高く評価

高岡市「勝興寺」

2022年に本堂、大広間、及び式台が国宝指定
江戸後期を代表する大型真宗寺院



★は「ミシュラン・グリーンガイド・ジャポン」の評価



ベニズワイガニ



ブリ



越中八尾 おわら風の盆

気品高く、哀調の中に優雅な趣を有する唄と踊りが特徴
例年3日間で「約20万人」の観光客が訪れる



ホタルイカ



シロエビ



魚津たてもん祭り

2016年に「高岡御車山祭」、「城端曳山祭」、「魚津たてもん祭り」の3つの山・鉾・屋台行事が、**ユネスコ無形文化遺産**に登録



高岡御車山祭



城端曳山祭



寿司

暮らし

持ち家率	<全国2位> (2020)
県民所得(1人あたり)	<全国6位> (2021)
女性(15~64歳)有業率	<全国3位> (2022)
生活保護率(低さ)	<全国 1位 > (2022)
火災発生件数(低さ)(人口1万人あたり) ※速報値	<全国 1位 > (2023)
救急自動車による現場到着所要時間(短さ)	<全国4位> (2022)
道路整備率	<全国4位> (2022)

自然環境

自然度比率 30.0% <本州一>	<全国3位> (1998)
保安林率 69.1%	<全国 1位 > (2021)
名水：環境省が選定する「名水百選」と「平成の名水百選」合わせて8件は、熊本県とともに 日本一	

教育・文化

高等学校進学率	<全国3位> (2023)
大学等進学率	<全国19位> (2023)
大学入学共通テスト現役志願率	<全国4位> (2023)
市区町村立図書館数 (人口10万人あたり)	<全国7位> (2022)
博物館数 (人口100万人あたり)	<全国2位> (2021)

産業

医薬品生産額 6,204億円	<全国5位> (2021)
住宅用アルミニウム製サッシの全国シェア	<全国 1位 > (2022)
水田率 95.2%	<全国 1位 > (2023)
チューリップ球根出荷量 11,785千球	<全国 1位 > (2022)

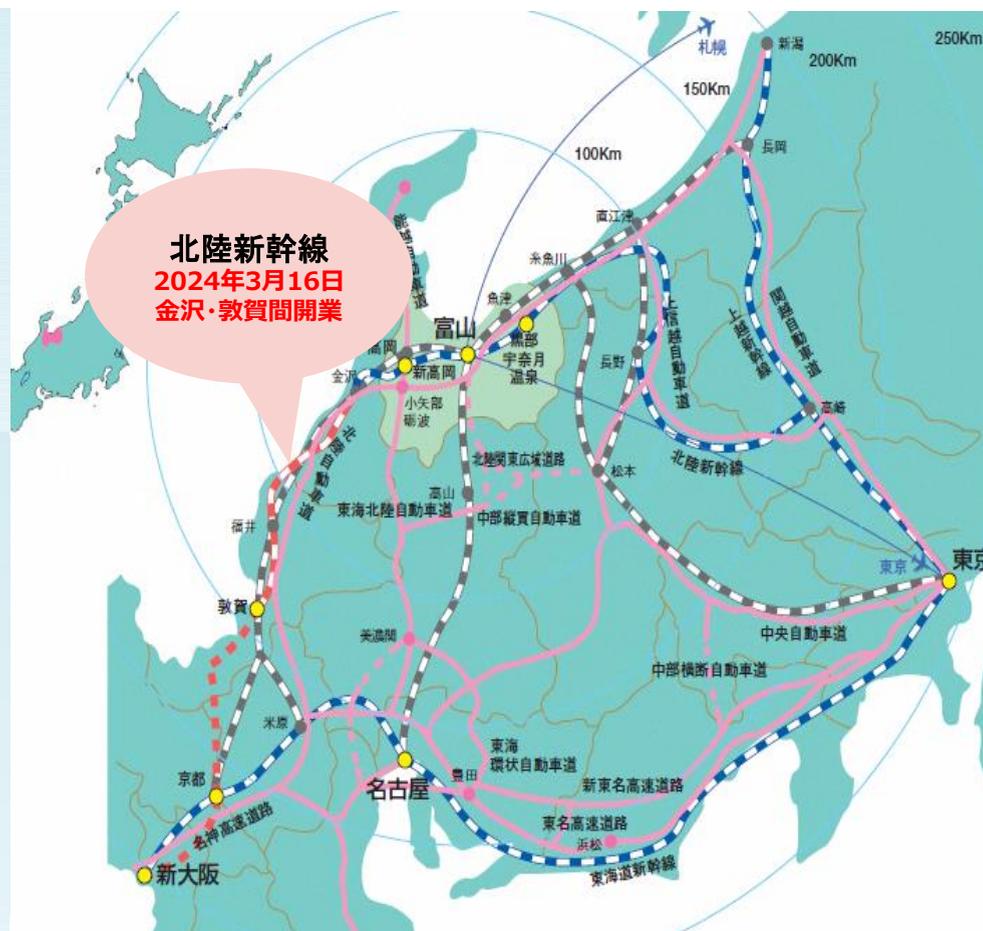
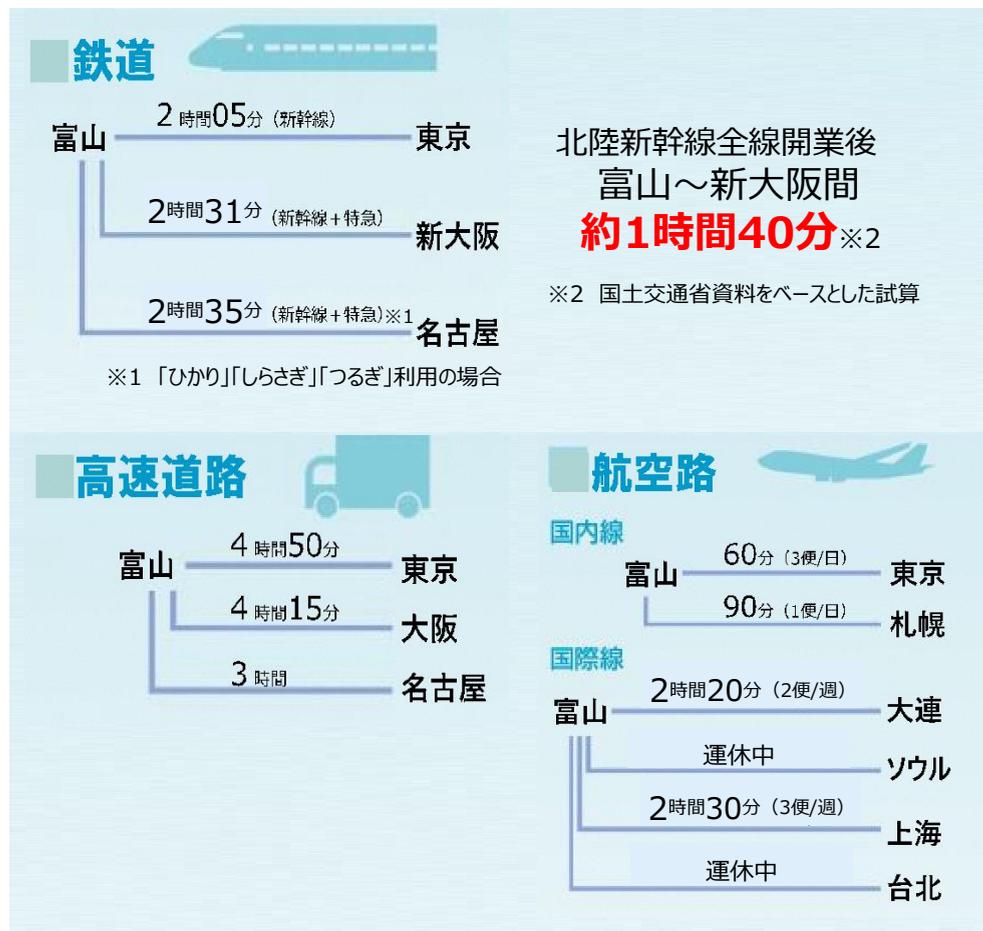
幸福度ランキング 全国4位

(出典：「全47都道府県幸福度ランキング2022年版」(日総研出版))

※分野毎では、健康、仕事、生活、教育の4分野でトップ5内

「北陸の十字路」～充実した交通網～

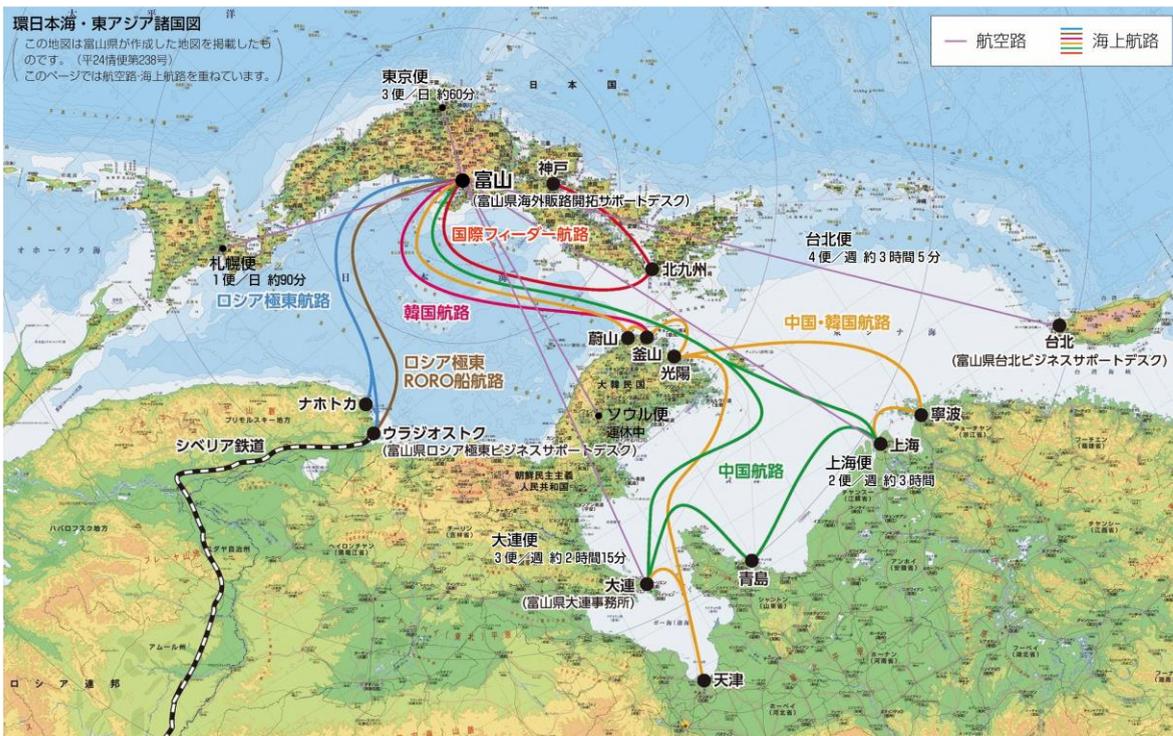
- 富山県は、日本海側の中心に位置し、北陸新幹線、東海北陸自動車道、航空路（富山きとぎと空港）などにより、東西南北の各県・地域を結ぶ要所にあり、さらには世界をもつなぐ、まさに「北陸の十字路」です。



「北陸の十字路」～環日本海交流の拠点～

- 富山県は、日本海を取り囲む環日本海交流圏の中心に位置しており、交流拠点として「富山きときと空港」や「伏木富山港」から対岸諸国への航空路・航路が整備されています。

逆さ地図



日本海側の「総合的拠点港」伏木富山港

- 伏木富山港は、国際海上貨物輸送網の拠点となる港湾である「国際拠点港湾」に指定されており、環日本海交流の中核を担う国際貿易港です。
- 2011年11月には、日本海側の各港湾をけん引する「総合的拠点港」として国から選定されました。



各地にビジネス支援体制を整備

- 環日本海地域との交流の拠点として、2004年に中国大連市に「富山県大連事務所」を設置し、経済、観光、学術、文化など、様々な交流を支援しています。
- 各地にビジネスサポートデスクを設置し、県内企業のグローバルな事業展開を支援しています。
 - ロシア極東 (2010年5月、ウラジオストク市)
 - バンコク (2012年12月、タイ・バンコク)
 - 台北 (2013年1月、台湾・台北市)
 - ホーチミン (2022年10月、ベトナム・ホーチミン市)
 - ハノイ (2023年7月、ベトナム・ハノイ市)

海上航路

富山 → ウラジオストク 富山 → 釜山 (4便/週) 富山 → 大連 (2便/週)
 コンテナ船 (2便/月) 富山 → 上海 (2便/週)
 RORO船 (14便/月) <全国最多> 富山 → 天津 (1便/週)
 富山 → 北九州→神戸 (1便/週)

- 富山県は、質の高い労働力、豊富な水、充実した交通網、ものづくりの伝統、**日本海側屈指の工業集積**など、優れた産業基盤があります。「**くすりの富山**」として知られる医薬品産業のさらなる発展や新たな成長産業の育成・振興により、「**ものづくり県**」として一層の飛躍を目指します。

製造品出荷額等 (2021)

北陸全体 9兆1,015億円
うち富山県 3兆9,045億円 (約43%)

人口1人あたりの製造品出荷額等 (2021)

全国 263万円
富山県 381万円

第二次産業への就業人口割合 (2020)

全国 23.4%
富山県 33.2% (全国トップ)

人口1人あたりの付加価値額 (2021)

全国 85万円
富山県 140万円
※付加価値額 = 生産額 - (原材料使用額 + 減価償却費 + 内国消費税)

富山県製造品出荷額等の上位5業種

順位	業種	金額 (億円)
1位	化学	7,232
2位	非鉄金属	4,713
3位	金属製品	4,115
4位	生産用機械	3,900
5位	電子部品	3,281
出荷総生産額		39,045

- ✓ 大正時代より、豊富な水資源と低廉な電力を活用した化学や紡績産業が立地し、戦後は、新産業都市構想を背景に、アルミなどの金属や機械産業の集積が進みました。
- ✓ 近年、これらの古くからの企業が電子材料分野で新たに事業展開するとともに、県外からの企業の新規立地も進むなど、電子部品・デバイス・電子材料産業も盛んです。
- ✓ 現在、**日本海側でトップクラス**の工業集積を形成しています。

出典：総務省 経済センサス-活動調査 (2020年実績)、総務省 人口推計 (2020年10月現在)

機械・金属産業の集積

戦前から蓄積された銅・鋳物の加工技術等を活かしたアルミ産業の集積が進んでおり、世界的なファスナーメーカーもあります。

また、技術力の高い機械関連企業や自動車産業を支える優良な部品メーカーが数多く立地しており、機械産業の盛んな中京・東海地域を結ぶ「東海北陸機械ロード」ともいべき集積がみられます。

富山県の機械・金属等関連企業（一例）

アイシン軽金属(株)

- 素材から加工・組付に至る総合技術で自動車部品を主力にアルミ製品を提供

(株)スギノマシン

- ウォータージェット等の「超技術」を追求
- 新工場「微粒テストセンター」が竣工（2021.5）

YKKグループ

- YKK AP R&Dセンターを建設し、研究・開発・検証・試験の機能を集結
- 黒部事務所に本社機能の一部を移転

キタムラ機械(株)

コマツNTC(株)

三協立山(株)

CKサンエツ **サンエツ金属(株)**

シーケー金属(株)

田中精密工業(株)

富山住友電工(株)

(株)不二越

電子デバイス産業の集積

良質で豊富な水、安価で安定した電力、自然災害の少なさ、交通の利便性といった、**半導体等のデバイスメーカーが求める立地条件**を十分に満たしています。

IT関連製造業では、グローバル製品に使用される基盤／素材、電装／機能部品などの部品・加工メーカーの集積が見られ、デバイスメーカーに対し、部品供給、加工等の素地が整っています。

富山県の電子デバイス関連企業（一例）

(株)KOKUSAI ELECTRIC

- 世界トップレベルの成膜技術を活かした、半導体製造装置を生産
- 砺波市において新工場を建設（2024.9竣工）

(株)SCREEN SPE ワークス

- 半導体製造の洗浄工程で世界トップシェアを誇るウェーハ洗浄装置を製造
- 高岡市において「半導体製造装置工場」が竣工（2023.8）

住友電気工業(株)

- 富山住友電工の敷地において、EV向けの半導体材料の工場を建設

SMK(株)

コーセル(株)

タカノギケン(株)

立山科学(株)

タワーパートナーズセミコンダクター(株)[TPSCo]

(株)富山村田製作所

日本カーバイド工業(株)

日本ゼオン(株)

医薬品産業の集積「薬都とやま」

富山県は、2022年の医薬品生産金額が全国5位の6,079億円であるほか、人口1人あたり医薬品生産金額、人口10万人あたり製造所数、人口1万人あたり従業員数で**全国1位**となっています。

また、富山県には、**100を超える製造所と容器・包装・印刷などの周辺産業**が集積しており、医薬品の製造拠点として高い評価を得ています。

富山県の医薬品関連企業（一例）

富士フィルム富山化学(株)

- 2023.7 約600億円を投じて**バイオ医薬品の開発・製造を受託する拠点**を整備するプロジェクトを開始

ダイト(株)

- ジェネリック薬の原薬・製剤の受託製造
- 2022.5 「**第七原薬棟**」竣工

前田薬品工業(株)

- 医療用の外用薬を中心に製造
- 2021.8 ステロイド外用剤専用棟「**立山工場**」稼働開始

アクティブファーマ(株)

アステラス製薬(株)

(株)池田模範堂

(株)大塚製薬工場

クラシエ製薬(株)

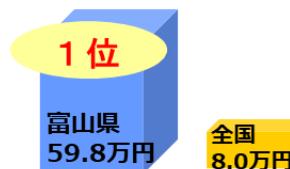
テイカ製薬(株)

富山小林製薬(株)

ユースキン製薬(株)

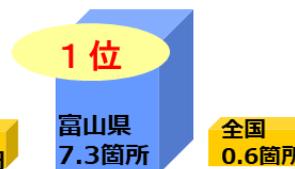
リードケミカル(株)

● **医薬品生産金額**
(人口1人当たり)



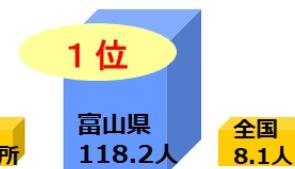
[2022薬事工業生産動態統計調査]

● **製造所数**
(人口10万人当たり)



[2022経済センサス]

● **従業者数**
(人口1万人当たり)



[2022経済センサス]

産学官の連携

県内の大学における医薬品分野の研究開発や人材育成等を推進し、中核的産業である医薬品産業のさらなる発展を図るため、**産学官連携により、2018年6月に「くすりのシリコンバレーTOYAMA」創造コンソーシアム**を設立しました。

本コンソーシアムでは、富山県薬業連合会、富山大学、富山県立大学、富山県薬事総合研究開発センターの産学官が中心となり、研究開発等を進めるとともに、大学改革を通じて、富山県の医薬品産業の振興や、「くすりの富山」を支える**専門人材の育成・確保**に取り組んでいます。



創薬研究開発センター

富山県薬事総合研究開発センター

都道府県立では唯一の薬事専門研究機関であり、免疫をターゲットとした**革新的な医薬品**の開発や、**一連の製剤機器や高度な分析器等の配備**により、人材育成や新製品の開発を全面支援

(2018年4月に「薬事研究所」を「薬事総合研究開発センター」に抜本的に改組し、この下に「創薬研究開発センター」、「製剤開発支援センター」、「薬用植物指導センター」を設置)



2 富山県のビジョン

-
- 令和6年能登半島地震からの復旧・復興
 - 「富山県成長戦略」
 - 「ウェルビーイング指標」
 - SDGsに関する取組み
-

ビジョン

Build Back Better !!

富山県の一日も早い復旧・復興によって北陸エリア全体の復興へ

富山県復旧・復興ロードマップ（中間とりまとめ）【令和6年3月27日策定】

基本的な考え方

- 復旧・復興の全体像やタイムスケジュールを「見える化」し、県民や事業者の安心な暮らしや事業活動を後押し
- 被災現場の課題・ニーズをきめ細かく捉えて随時アップデート

令和8年度までの概ね3年間の取組みを示し、市町村と連携のもと、県民・事業者の協力や全国の自治体の応援もいただきながら、**早期復旧・復興に全力で取り組む**

4つの柱と対応項目

I 暮らし・生活の再建

- 1 住宅の復旧・復興
- 2 被災者の生活支援
- 3 災害廃棄物処理支援
- 4 医療・福祉提供体制の構築支援
- 5 被災者の健康管理
- 6 被災市町村への応援
- 7 被災地の防犯対策強化

II 公共インフラ等の復旧

- 8 公共土木施設の復旧
- 9 水道の復旧
- 10 交通インフラの復旧
- 11 農林水産業施設の復旧と経営支援
- 12 文教施設・文化財の復旧
- 13 県行政施設の復旧等

III 地域産業の再生

- 14 中小企業等の生業支援
- 15 地域経済の復興
- 16 観光関連産業の支援
- 17 農林水産業施設の復旧と経営支援【再掲】

IV 北陸全体の復興に向けた連携

- 18 広域避難者の生活再建への支援
- 19 石川県での各活動の支援
- 20 地域経済の復興【再掲】
- 21 北陸地域の観光復興に向けた連携

※死者（災害関連死）・負傷者のほか、液状化等により多くの家屋被害・公共インフラ施設等に**深刻な被害**が発生



倒壊した家屋（氷見市）



崩落した国道359号（小矢部市）

「富山県成長戦略」（令和4年2月策定）

- **ウェルビーイングの向上**を中核に据え、**新しい産業政策、人材政策に取り組む**

ビジョン

「幸せ人口1000万～ウェルビーイング先進地域、富山～」

経済成長を通してウェルビーイングの向上を図るとともに、**ウェルビーイングの考え方を各施策に盛り込み、経済成長につなげていく好循環を目指す**

「幸せ人口1000万」

県民約101万人 + 関係人口1000万人

いつまでも「県内人口100万人」という考え方に縛られてはもったいない。そうではなく、幸せという大きな傘のもと「関係人口1000万人」を目指しましょう。
富山で暮らす人、仕事する人、よく訪れる人、生まれ育った人など愛着を持って関わるすべての人が、富山県の仲間です。
【成長戦略ビジョンより抜粋】

成長戦略の6つの柱 全ての戦略に『ウェルビーイング』の考え方を盛り込む

①ウェルビーイング戦略

人を集めて出入りを活性化し、もっと幸せな富山を目指す

- ◆ 多様な人材がいまきと暮らせる環境づくり
- ◆ 若い女性のウェルビーイング向上
- ◆ 出入りの活性化による人材集積

②まちづくり戦略

県民にも県外の方にも、居心地がいいまちづくりを目指す

- ◆ (ボトムアップな) 官民連携による富山らしい個性的なまちづくり
- ◆ 持続可能な魅力ある田園地域づくり

③ブランディング戦略

「富山＝ウェルビーイング」のイメージづくりを目指す

- ◆ 一人一人が富山の魅力を発信
- ◆ 暮らすように旅する観光
- ◆ 高付加価値な観光

④新産業戦略

「新産業の創出」や「多様な人材の育成」を目指す

- ◆ 県内企業のDX化・高付加価値化
- ◆ 「外貨を稼げる」自立した経済圏
- ◆ STEAM教育など人材育成

⑤スタートアップ支援戦略

経済成長を牽引する新たな企業の創出を目指す

- ◆ 集中的な起業家支援
- ◆ チャレンジャーを支援するコミュニティを形成
- ◆ 跡継ぎベンチャーへの支援

⑥県庁オープン化戦略

県民参加や官民連携が行いやすい県庁を目指す

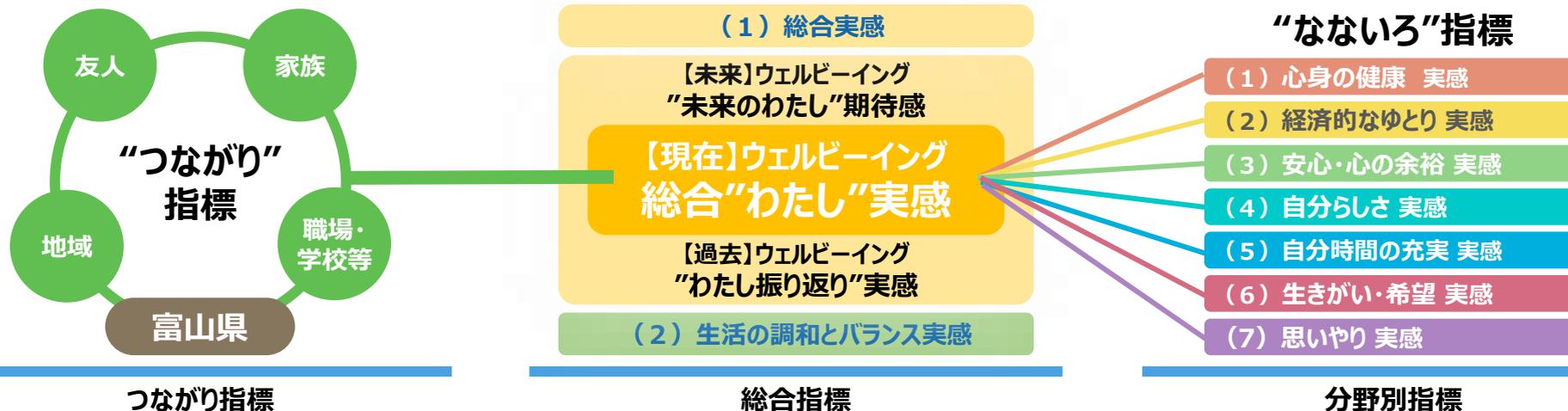
- ◆ 越境人材の育成
- ◆ 若者や女性の積極的登用
- ◆ 県庁DXと分かりやすい情報発信

「ウェルビーイング指標」

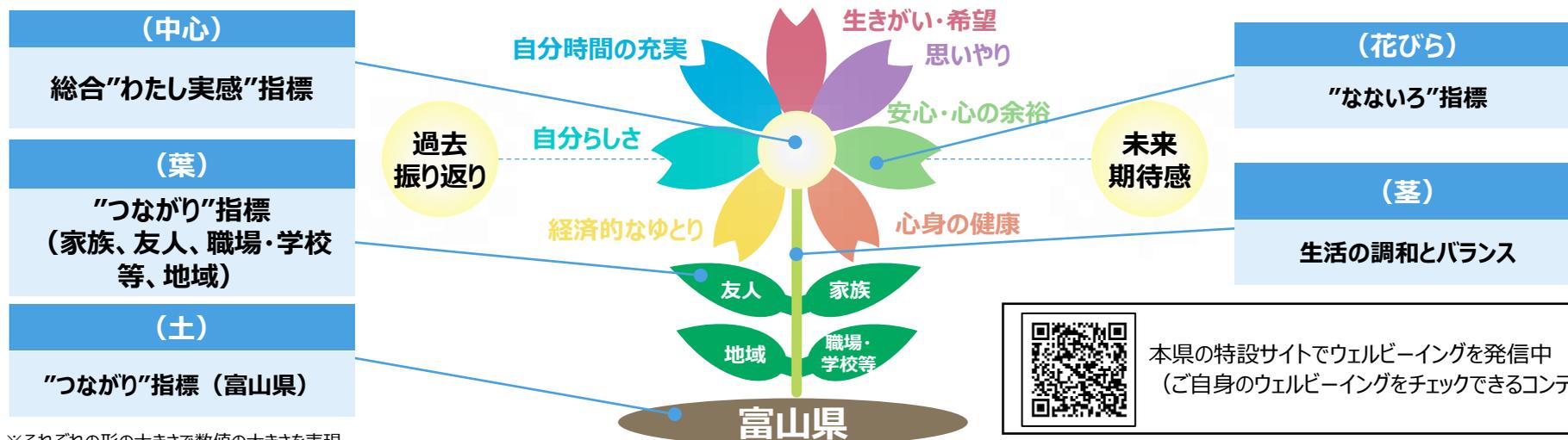
- 「富山県成長戦略」の中心に掲げるウェルビーイングに関し、令和4年9月に実施した県民意識調査の結果等を踏まえ、**主観的な要素からなる本県独自の指標を策定（令和5年1月）**しました。

ウェルビーイング指標の体系

10指標・・・総合2指標、分野別7指標、つながり指標



ウェルビーイング指標の全体像・・・状態を花に見立てて視覚的に表現



※それぞれの形の大きさが数値の大きさを表現



本県の特設サイトでウェルビーイングを発信中
(ご自身のウェルビーイングをチェックできるコンテンツあり)

- 本県は、「**SDGs未来都市**」として、「**富山県SDGs未来都市計画**」（現在第2期：2022年～2024年）を策定し、SDGsの取組みを推進しています。

将来ビジョン

『環日本海地域をリードする「環境・エネルギー先端県とやま」』

- ✓ 世界に誇れる雄大な「立山黒部」や「世界で最も美しい富山湾」など美しい山と海を有し、豊かな水の恵みを活かして持続的な経済発展を実現する県
- ✓ 「富山県物質循環フレームワーク」の実現に向けた「とやまモデル」が確立した県

SDGs推進に向けた県の取組み

- ✓ SDGs推進に向けた取組みを環境・経済・社会の三方面から統合的に推進
- ✓ 県内の様々なステークホルダーのSDGsの達成に向けた取組みを支援
- ✓ SDGsの普及啓発・ステークホルダーとの連携を促進

カーボンニュートラルへの取組み

- ✓ 令和5年3月に「**富山県カーボンニュートラル戦略**」を策定し、カーボンニュートラルと持続可能な成長との両立を目指し、様々な施策を実施

これらの施策を加速化させていくための資金調達を目的に、昨年度に引き続き「**グリーン共同発行市場公募地方債**」を発行予定（本県発行予定額30億円程度）

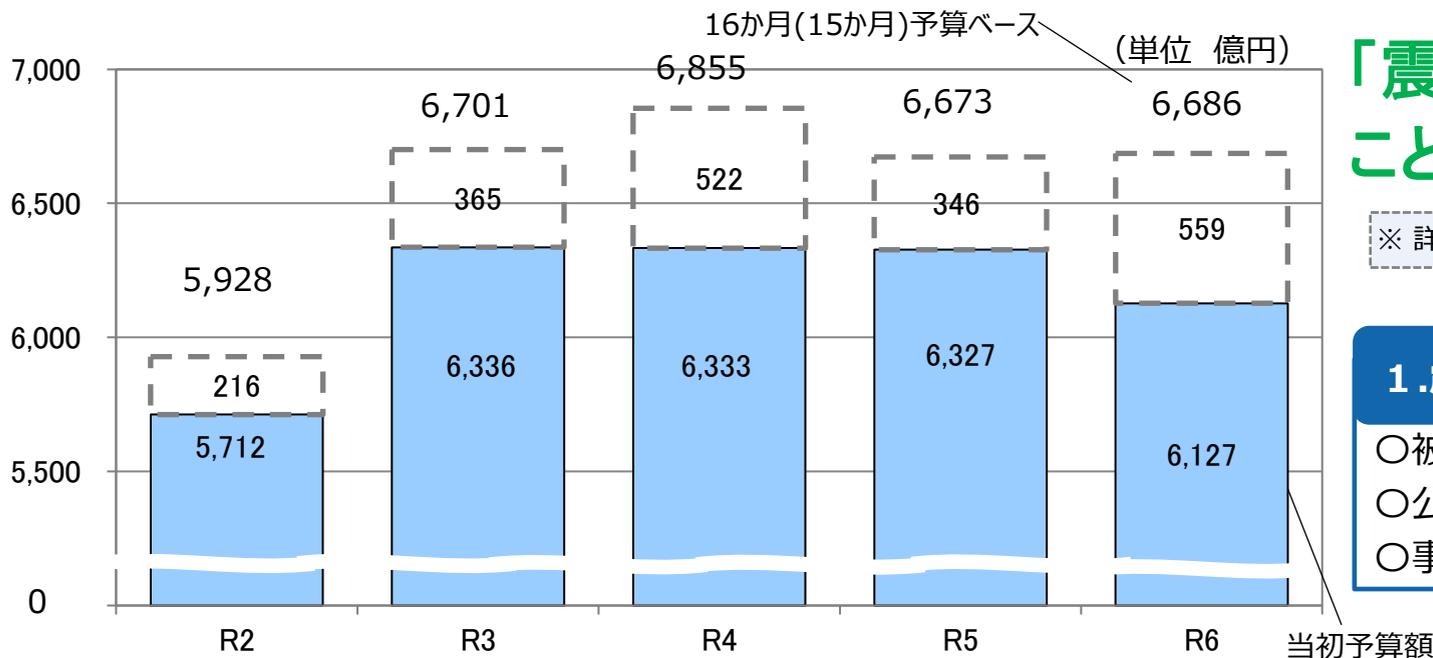


3 富山県の財政状況

-
- 令和6年度一般会計予算
 - 普通会計決算
 - 県税収入
 - 県債発行額
 - 県債残高
 - 基金残高
 - 県庁活性化の取組み（令和6年度）
 - 主な財政指標の状況
 - 地方公会計に基づく財務諸表の状況
 - 公営企業の決算
-

令和6年度一般会計当初予算額 **6,126億5,553万円**

〔令和5年度11月補正予算、1月補正予算、2月補正予算などを含めた16か月予算、**6,686億2,169万円**〕



「震災を超えて、
こどもまんなか社会へ。」

※ 詳細は [令和6年度富山県予算](#) 検索

1. 震災からの復旧・復興 (244億円)

- 被災者の生活再建
- 公共インフラ等の復旧
- 事業者の生業支援 等

2. 「未来づくり」への積極投資 (新規・重点施策) (90億円)

- こどもまんなか社会の実現
- 教育の充実など人材育成の推進
- 新産業の創出、官民連携の推進
- 公共交通への投資・参画
- SDGsの推進、CNの実現 等

3. ウェルビーイング指標を活用した課題解決 (15億円)

ウェルビーイング指標を活用した課題解決に向け、4つのグループ・23テーマの事業パッケージを新たに企画・立案



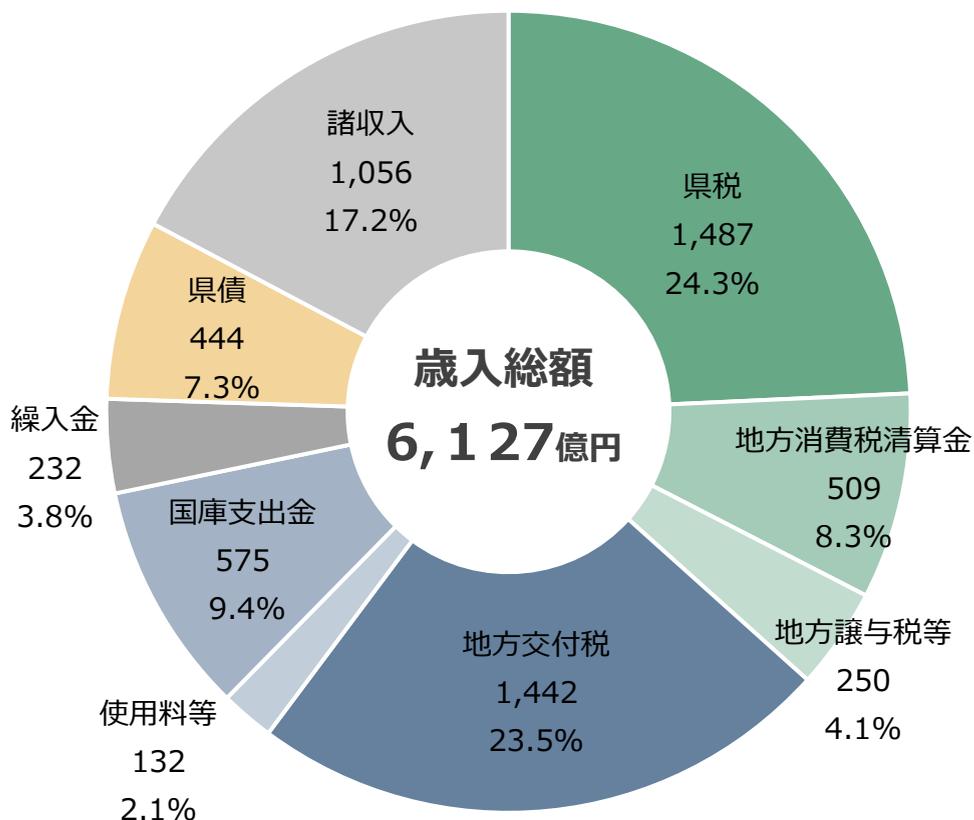
4. 既存事業の抜本的見直し・再構築 (R6 当初事業費ベースで17.7億円)

県民や事業者、関係団体の現場の声に加え、デジタル技術の進展など現下の社会情勢の変化を考慮。事業の統廃合を含め、抜本的に見直しを図る。

令和6年度一般会計予算 ～歳入・歳出の内訳～

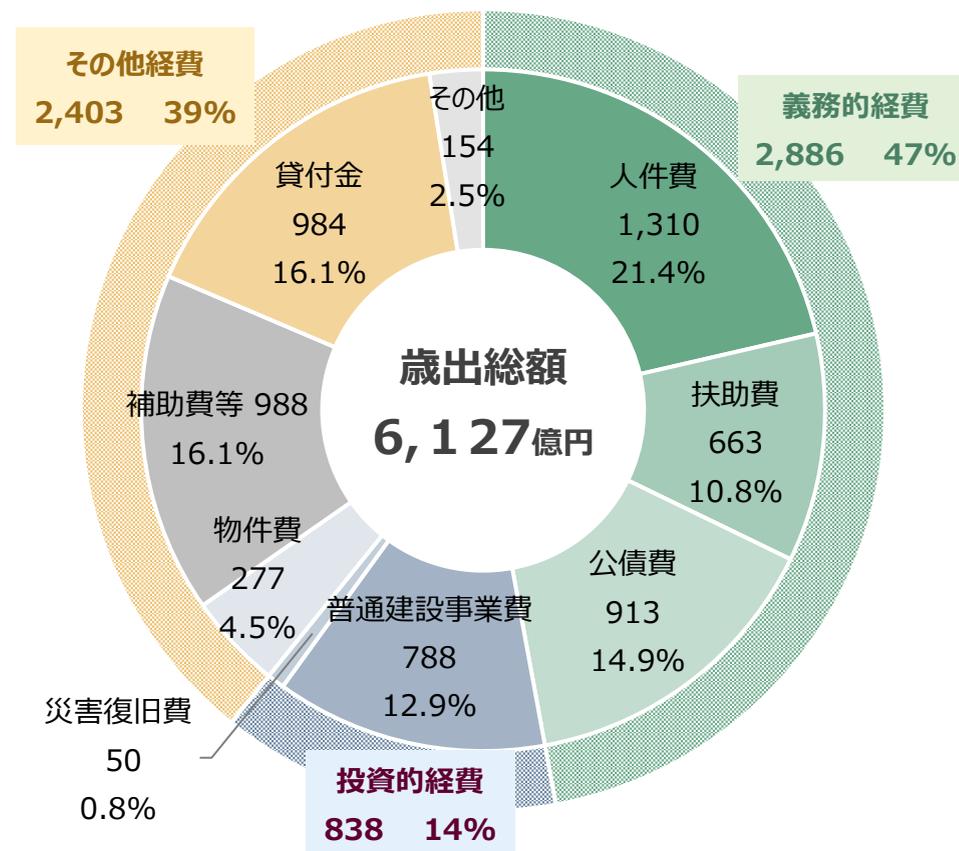
- 歳入のうち、県税が全体の約1/4を占め、次いで地方交付税、諸収入、国庫支出金の順となっています。
- 歳出のうち、こども政策の充実等に伴う扶助費の高まりにより、「義務的経費」が約5割を占める中、メリハリの効いた行財政運営に努めています。

歳入（令和6年度一般会計予算）



(金額単位 億円)

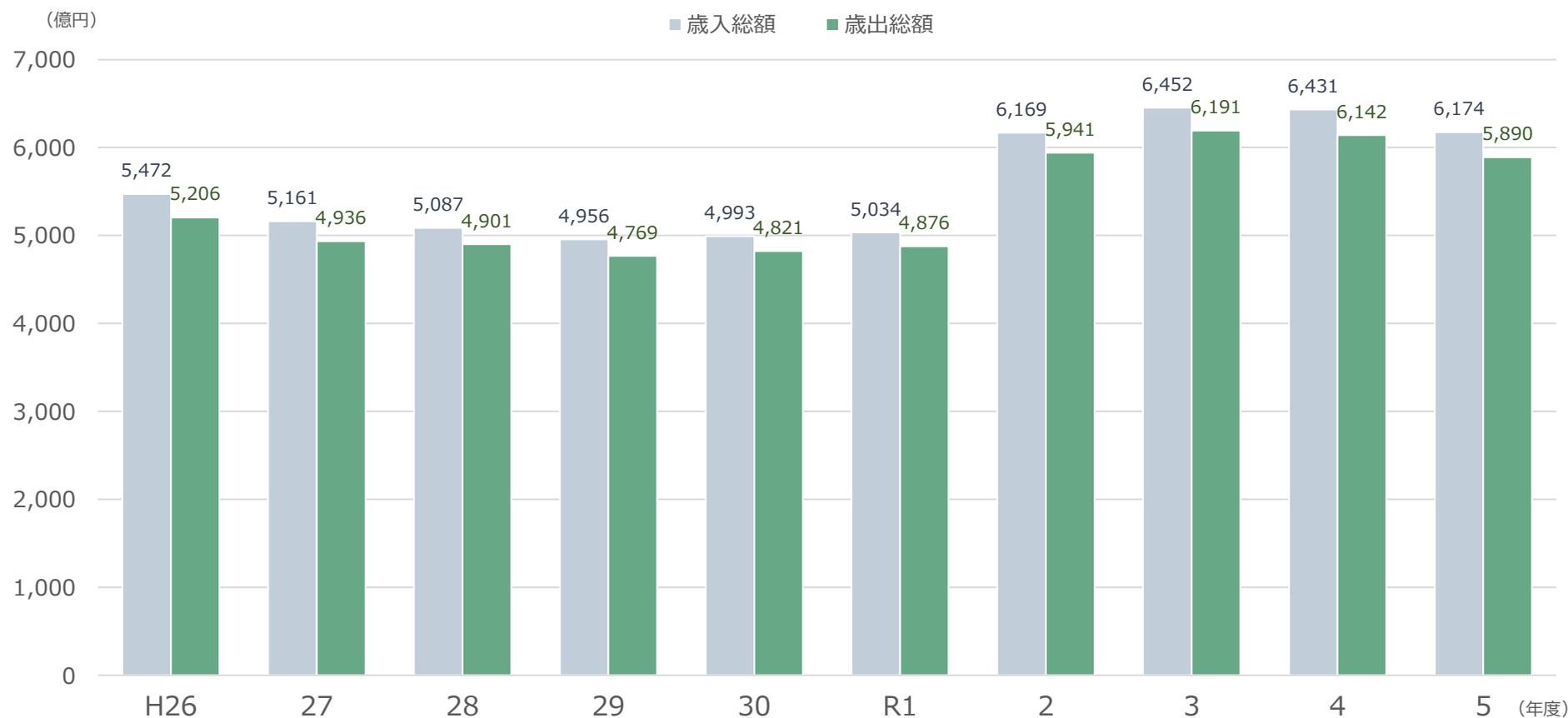
歳出（令和6年度一般会計予算）



歳入・歳出決算の推移（普通会計）

- 令和2年度以降、国交付金等を活用し新型コロナ対策や物価高騰対策、震災からの復旧等に積極的に取り組んできた結果、歳入・歳出ともに大幅に増加、令和5年度において減少するも、引き続き同程度の規模となっています。

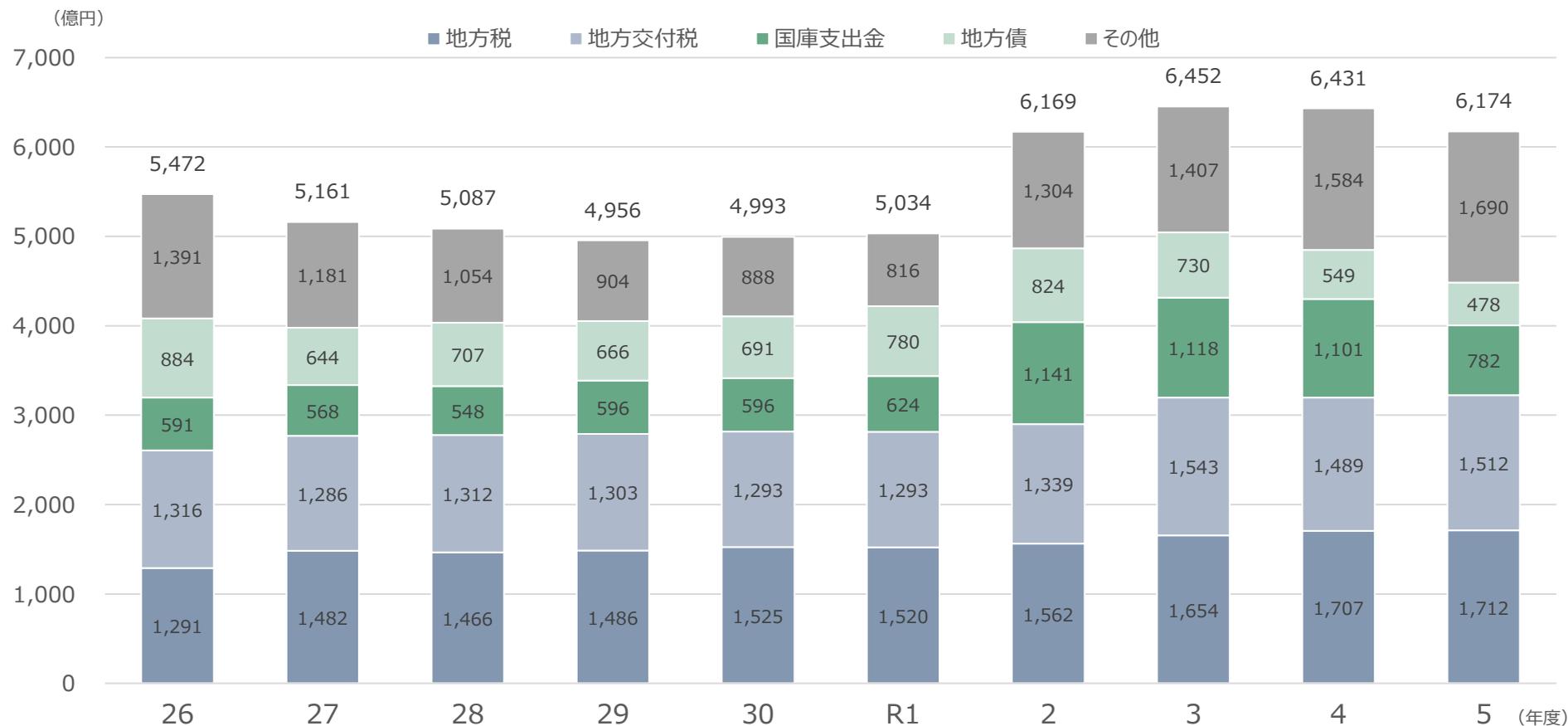
普通会計 歳入歳出の推移



歳入決算の内訳（普通会計）

- 新型コロナ対応のための国庫支出金が大幅に増加した令和2～4年度を除き、地方税及び地方交付税の合計で概ね5割以上を確保しています。

普通会計 歳入決算の内訳



- 地方税は、堅調な企業収益による法人事業税の増等により増加
- 歳入全体に占める自主財源の割合は約5割

歳出決算の内訳（普通会計）

- 人件費は減少傾向にある一方、社会保障関係費や、近年の防災・減災対策の強化等により投資的経費が増加傾向にあります。

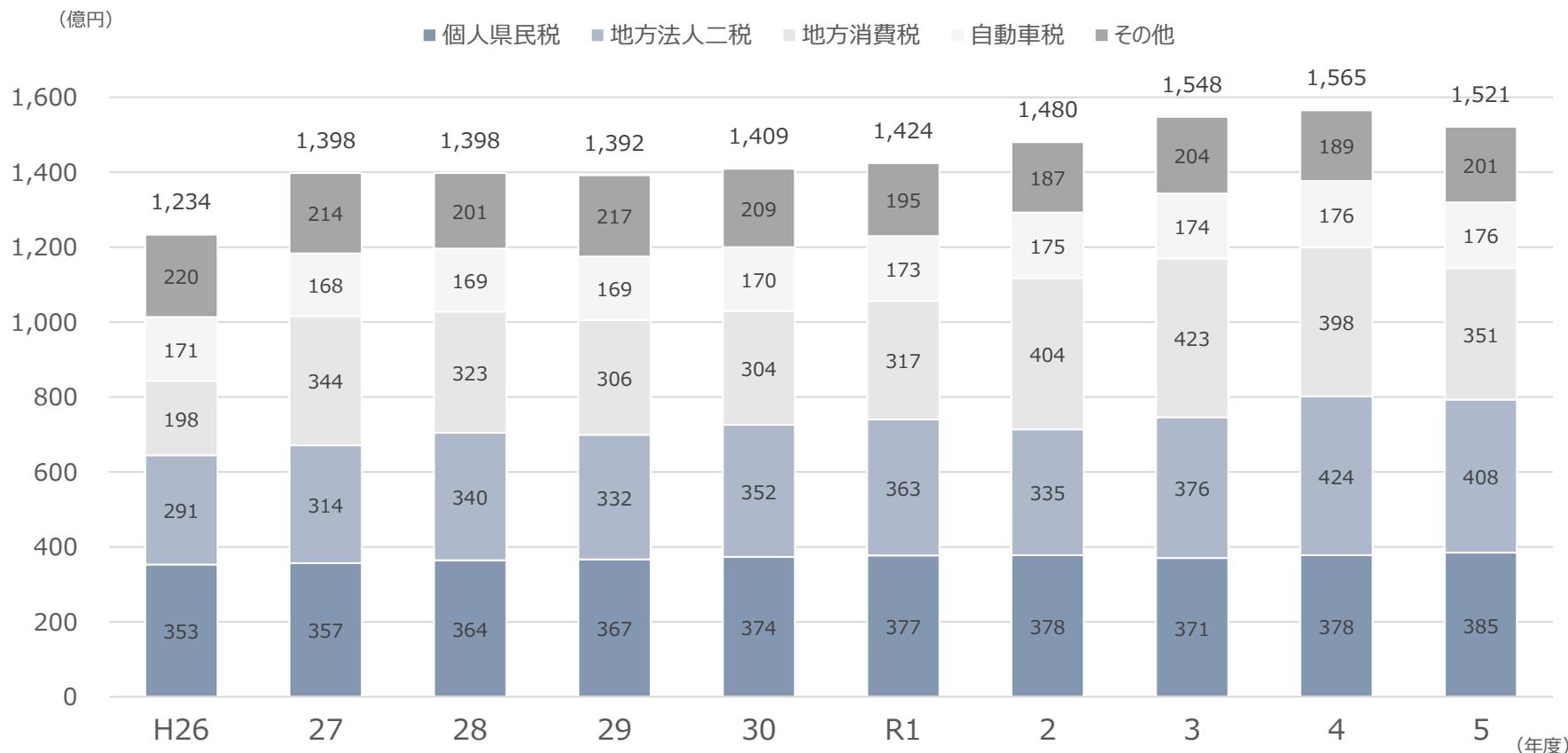
普通会計 歳出決算の内訳



- 令和5年度は、新型コロナウイルス関係経費の減少等により、歳出全体としては減少しました。

- 堅調な企業収益や消費税率の引上げを背景に、高い水準で推移しています。

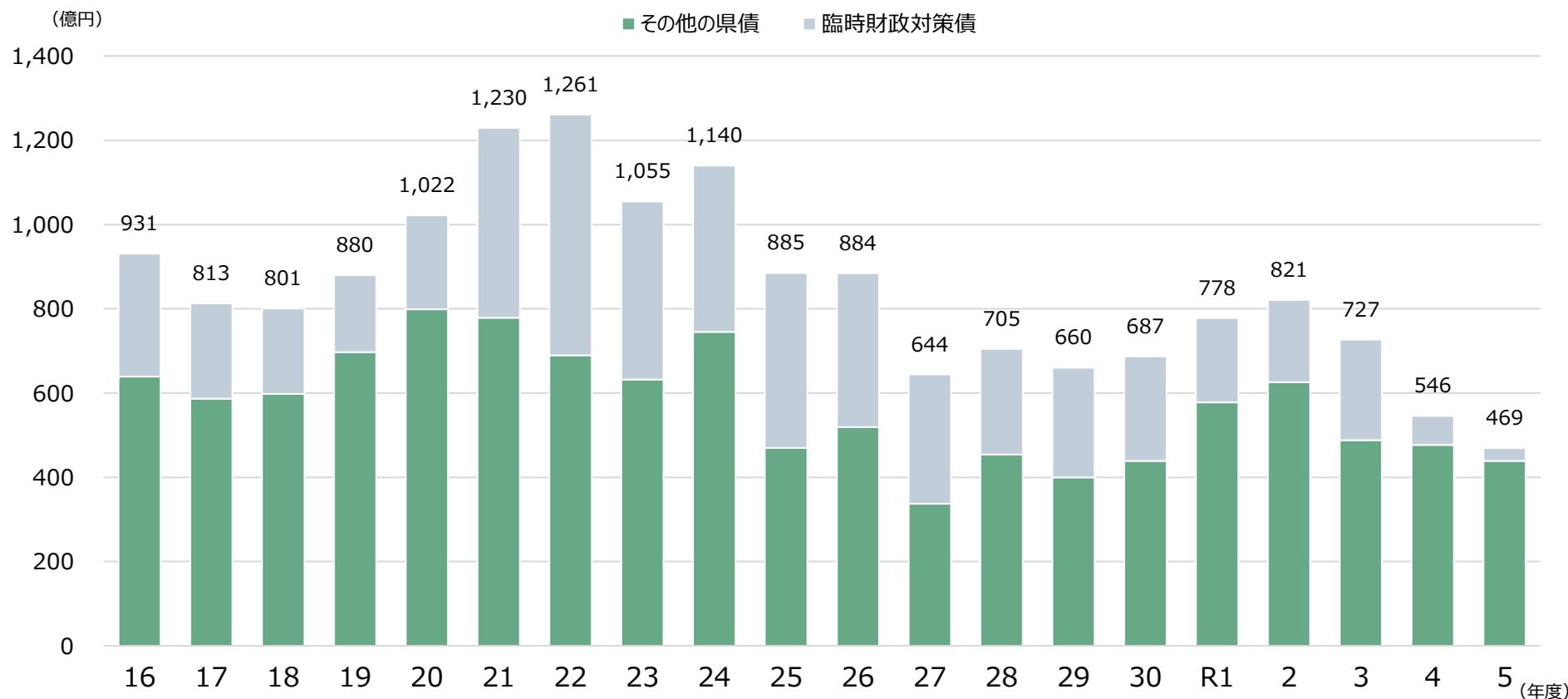
県税収入の推移 ※決算ベース



- 令和5年度は、株式等の譲渡益や配当の増加により個人県民税が増加し、高い水準で推移しています。

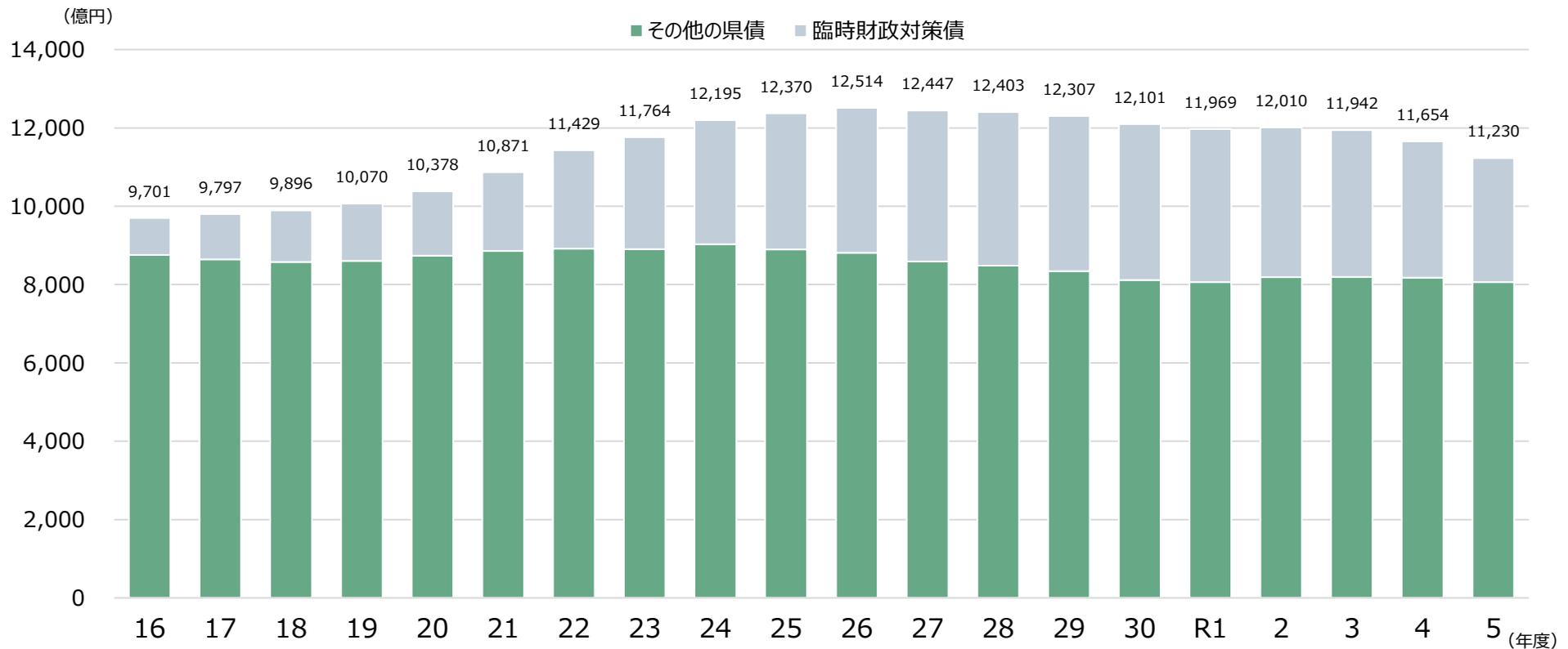
- 県債の新規発行額については、災害復旧や国の補正予算に対応した防災・減災対策などにより変動はありますが、近年は、臨時財政対策債の減少等もあり、概ね減少傾向にあります。

県債発行額の推移



- 県債残高については、平成26年度をピークに臨時財政対策債の発行額減少などにより減少傾向にあります。

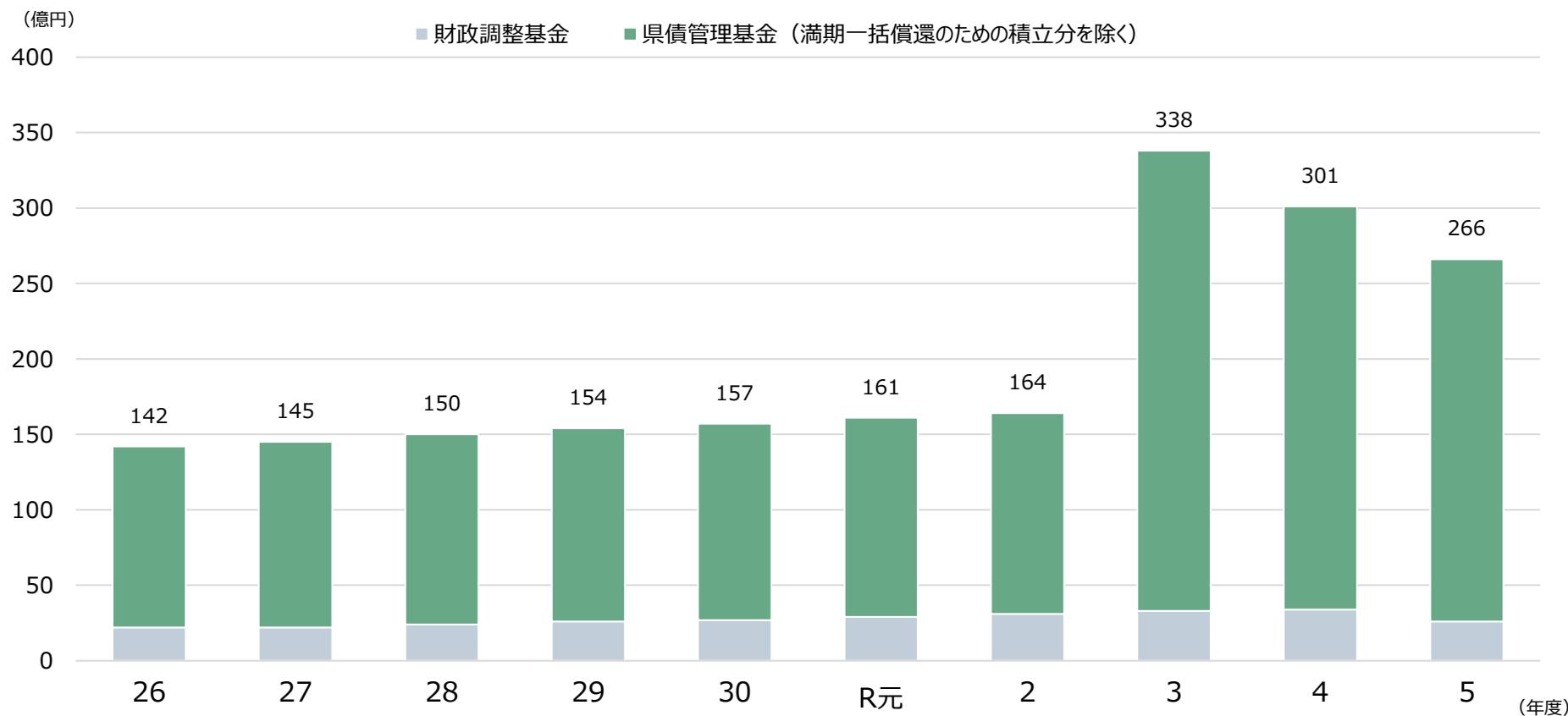
県債残高の推移（一般会計）



基金残高（財政調整基金・県債管理基金（満期一括償還のための積立分を除く））

- 景気動向や大幅減収への対応、災害時への備えとして、必要な残高の確保に取り組んでいます。令和3年度には、今後の県債償還等に備えるため、県税収入の増加分を活用して県債管理基金への積立を行ったため残高が大きく増加、その後、計画的な償還により減少傾向にあります。

財政調整等のための基金残高の推移



定員の適正管理

- 新たな「定員管理計画」（令和4年4月から3年間）を策定し職員数の適正化に努めるとともに、児童相談所の充実等について増員を実施

DX・働き方改革

- 富山県デジタルによる変革推進条例（令和6年3月）※都道府県では全国で2番目
- 条例を契機に、県政の全ての行政運営においてDXの推進や、デジタルを活用した行政手続・行政サービスの向上
- 職員の仕事と家庭の両立、働きがいの向上など、県庁におけるウェルビーイング経営の推進

官民協働事業レビュー

- 既存事業の改善を図るため、県民との協働による「事業レビュー」を実施

実施体制：コーディネーター、委員、県民評価者 20名程度、県担当部局（説明者）

実施内容：県の既存事業についてレビューを実施し、県民評価者により評価
（例：「拡充」、「一部改善」、「抜本的改善」など）



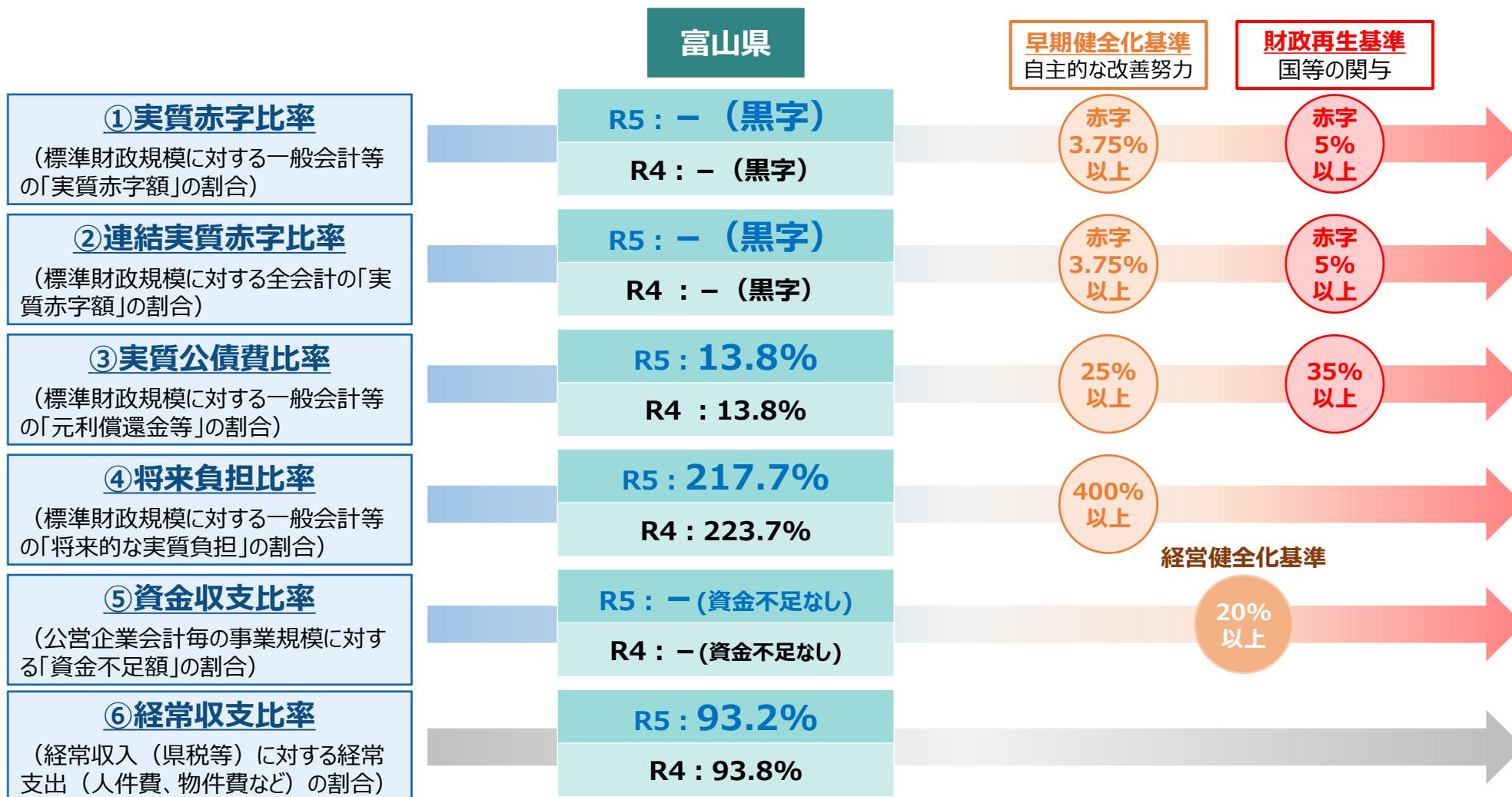
評価結果等を参考に各事業のあり方を検討のうえ、R7年度当初予算へ適切に反映予定

公共施設マネジメント

- 市町村施設との機能分担や官民連携の推進により、公共施設の最適配置、維持管理費等の縮減・平準化を図る。
- 県有施設への太陽光発電設備の計画的設置など、カーボンニュートラルの推進に取り組む。

主な財政指標の状況

- 財政健全化法に基づく財政指標①～⑤については、早期健全化基準を大きく下回っています。



- 「標準財政規模」：各地方公共団体において経常的に収入されるであろう一般財源の規模
- 「一般会計等」：一般会計及び1 1の特別会計(公債管理特別会計など)
- 「公営企業会計」：病院事業会計をはじめとする8の特別会計

地方公会計に基づく財務諸表の状況（令和4年度決算）

- 総務省の「統一的な基準」に基づき財務諸表等を作成・公表しています。

貸借対照表（一般会計等）

（億円）

資産の部	金額	負債の部	金額
有形固定資産	12,903	固定負債（地方債）	9,983
無形固定資産	39	〔 固定負債 退職手当 引当金等 〕	1,044
投資その他の資産	1,582		
流動資産	549	流動負債	1,800
資産合計	<u>15,073</u>	負債合計	12,827
		純資産の部	金額
		固定資産等形成分	14,690
		余剰分（不足分）	▲12,444
		純資産合計	2,246
		負債・純資産合計	金額
			<u>15,073</u>

行政コスト計算書（一般会計等）

（億円）

経常費用	金額	臨時損失	金額
人件費	1,237	災害復旧事業費	5
物件費等	1,238	資産除売却損	10
移転費用	2,752	投資損失 引当金繰入額	0
その他	457	臨時損失計	<u>15</u>
経常費用計	<u>5,684</u>		
経常収益	金額	臨時利益	金額
使用料及び手数料	91	資産売却益	7
その他	225	その他	7
経常収益計	<u>316</u>	臨時利益計	<u>14</u>
純経常行政コスト	金額	純行政コスト	金額
	<u>5,368</u>		<u>5,369</u>

公営企業（法適用）の決算

- 全ての事業において資金不足が発生していません。

(百万円)

事業	R5				R4			
	総収益	総費用	純利益	資金剰余額	総収益	総費用	純利益	資金剰余額
病院事業	30,785	31,263	▲478	6,592	31,364	30,821	543	6,158
電気事業	4,608	5,230	▲622	11,092	4,919	3,814	1,105	9,789
水道事業	1,467	1,381	86	2,947	1,513	1,411	102	2,832
工業用水道事業	2,062	1,774	288	4,495	2,111	1,540	571	3,917
地域開発事業	61	37	24	5	60	35	25	3
流域下水道事業	7,365	7,145	220	378	7,449	7,240	209	335

病院事業

県立中央病院、県リハビリテーション病院・こども支援センターの経営

電気事業

井田川・小矢部川・常願寺川水系等の発電所における水力発電事業

水道事業

県東部・西部における各市町村への水道用水供給事業

工業用水道事業

県西部、八尾中核工業団地、利賀川における工業用水供給事業

地域開発事業

富山市内中心部における駐車場事業

流域下水道事業

小矢部川及び神通川左岸流域における、複数の市町村区域にわたる下水道事業



4 市場公募債の発行計画

- 市場公募債の発行概要（令和6年度）
-

発行概要（予定）

発行額 : 100億円

発行時期 : 令和6年11月

償還方法 : 満期一括償還

償還年限 : 10年

引受シンジケート団（予定）

R6.10.24現在

銀行団

株式会社 北陸銀行（代表受託行・幹事）
株式会社 みずほ銀行（副受託行・幹事）
株式会社 富山第一銀行
株式会社 富山銀行
富山信用金庫
高岡信用金庫

証券団

みずほ証券 株式会社（幹事）
大和証券 株式会社
野村証券 株式会社
SMBC日興証券 株式会社
三菱UFJモルガン・スタンレー証券 株式会社

富山県 経営管理部 財政課

〒930-8501 富山市新総曲輪1-7

Tel: 076-444-3168 Fax: 076-444-3485

富山県HP [富山県公式ウェブサイト \(pref.toyama.jp\)](http://pref.toyama.jp)



本資料は、富山県債の購入をご検討いただいている投資家の方々に、本県の財政状況等について説明することを目的とするものであり、特定の債券の売出し又は募集を意図するものではありません。

本資料に掲載されている情報は、修正する場合があります。



富山県

Toyama Prefecture